



SSH&国際探究ニュース

SSH & Global Education Reports

京都大学 COCOUS-R 中間発表会に参加しました！

8月3日（月）～4日（火）の2日間にわたって、京都大学理学部主催の女子高生向け理学探究活動推進事業 COCOUS-R の中間発表会が京都大学吉田キャンパスで行われ、本校2年生1名が参加しました。選考を通過した女子生徒たちによる探究に関する口頭発表・ポスター発表に加え、2日目には色に関わる化学実験としてTLC（薄層クロマトグラフィー）を使った実験を体験させていただきました。

研究発表も化学実験も、定期的にオンラインで探究活動を支援してくれている京都大学の大学生や大学院生が、多くの助言や手助けをしてくださいました。高校生同士も交流を深められ、理数探究へのモチベーションを高める非常に充実した2日間でした。今号は参加した生徒の気づきや感想をご紹介します！



参加者の声

今回の発表会では、全国各地の学校から集まった生徒同士で、様々な分野の研究について発表し合うことができました。地域特有の課題に着目し、その解決を目指した実験や研究も多く見られ、とても興味深く感じました。また、似た研究テーマであっても、異なる視点からアプローチすることで新たな発想が生まれることを実感し、自分の視野も大きく広がりました。さらに、学年や地域の枠を越えて交流したことで、レベルの高い発表に数多く触れ、多くの学びを得ることができました。

私は数学分野の研究を行っているため、2日目の「化学実習」は専門外の内容で、最初は不安もありました。しかし、説明を受けながらペアで協力し、それぞれの知識を生かして実験に取り組んだことで、新たな発見があり、分野を越えた学びの面白さを実感しました。また、女子生徒のみが参加する発表会でありながら、数学をテーマとした研究班が多かったことも印象的で、とても嬉しく感じました。

今回の2日間を通して、多くの貴重な経験や新たな出会いを得ることができました。中間発表会であることを踏まえ、今回いただいた助言や意見を今後の研究に生かし、より深く発展させていきたいと思っています。（文責 2年 HN）

